



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

カタール：外国人労働者の調査をしていた英国人2名がカタール当局によって拘束

8月31日、カタールで外国人労働者の調査をしていた英国人 Krishna Upadhyaya と Ghimire Gundev の両名がカタール当局によって拘束された。Krishna Upadhyaya はノルウェーにある国際 NGO、Global Network for Rights and Development (GNRD) の研究員。ロンドン在住の写真家の Ghimire Gundev と共に8月27日からカタールに滞在し、調査を実施していた。30日には友人に「警察に追跡されている」とのメールを送っており、31日には滞在先のホテルをチェックアウトしたものの、飛行機への搭乗が確認されておらず、9月4日には両名がカタールで行方不明になっているとの報道が飛び交った。

カタール外務省は6日に声明を発出し、31日に両名がカタールの法律の規定を犯していたために拘束したこと、また、両名は人道的に扱われており、英国大使館が状況を確認するため両名を訪問したことを明らかにした。彼らが拘束された具体的な理由は明らかにされなかった。6日、GNRD が公開した英国当局から受け取った Krishna のメッセージによると、「我々はペーパーワークに問題があったことで拘束された（ママ）」とした。また、健康状態は「良好」であり、「まもなく帰国することになるだろう」と述べた。

評価

両名が拘束された背景について公式の見解は表明されていないが、報道によると、両名はカタールにおける外国人労働者の人権状況について調査していたとされている。外国人が人口の8割以上を占めるカタールにおいては、低賃金の外国人労働者の過酷な労働状況が問題視されてきた。

近年、カタールを含めた湾岸諸国では、政府に批判的、あるいは、政府にとって不都合な問題について調査する研究者やジャーナリストの入国を拒否したり、国外追放にしたりする処置を強化している。また、自国民に対しては国籍を剥奪するなど、さらに強硬な手段によって、自国にとって不都合な人物の物理的な排除を進めている。今回の事案についても、早晚両名の帰国は実現するであろうが、今後このような形での言論統制は強化されていくと見られる。

(村上研究員)

©本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799